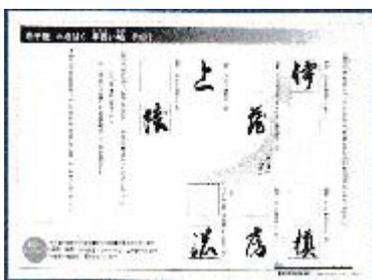


登録ボランティアの体験談

◆寺子屋「れきはく」のボランティアって？

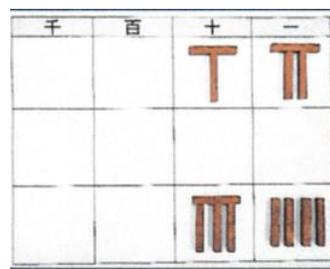
歴博は佐倉城址の一角にある博物館で、春は桜、秋には紅葉が楽しめます。ボランティア活動を終えた後の外の澄んだ空気を吸うと気持ちがよくなります。寺子屋「れきはく」は、歴博の第3展示室内にあり、寺子屋体験コーナーでは来室者にくずし字や変体がなを体験してもらうためのサポートをします。来室者は、小学生グループや親子連れをはじめ様々な年齢層で、国内外の様々な地域にお住まいの方のため毎回新鮮な気持ちになります。双六や算木も来室者と一緒に楽しめます。そして、活動時間は月2回程度で午前・午後交代制の3時間。希望のシフトにより活動しますので、無理なくスケジュールを組むことができます。シフト体制は3人または4人ですが毎回メンバーが違うことが多く、いろいろな人と交流できる楽しみがあります。



(くずし字手習い帖)



(双六)



(算木 (さんぎ))

◆やりがい

○これまで、自身の仕事上で経験したことのない接客という活動なので、お客様の反応を直接感じることは、新鮮であり、魅力的でした。また、「楽しく体験できた」「新しいことを学べた」「親子で同じ体験ができて、こどもが楽しく熱中している姿がうれしかった」のような、感想をもらった時は、ボランティア活動のやりがいを感じる時です。

○「静」なる展示物に相對することが来館者にとって多くを占める歴博での時間の中で、唯一「双方向」での対話を楽しめる場所が、ここ寺子屋「れきはく」になります。我々のボランティア活動は、その「対話」を担う、館にとっても重要な位置づけの一つなのだと感じています。ゆっくり回れば半日以上も掛かる常設展示の動線で、寺子屋「れきはく」はそのほぼ中央にあり、単なる「体験」の場だけでなく、来館者が言わば「ひと息」つきながら、来館を通じて得た気づきを語る場でもあり、ボランティアがそれをしっかりと受け止めることも「喜び」「やりがい」に繋がっていると思います。

○先輩のボランティアの方々が親切で、みんなで協力して、担当のシフトを運営していく雰囲気、心地よく、次回のシフトの日を待ち望んでいる自分を発見しました。このやりがいは、他の多くのボランティアさんが共有されていると思っています。

◆自己研鑽の場として

○寺子屋は、多様な人たちが交差します。小学生から大学生、社会人、外国人、障がいのある方など様々。いずれも違う道を歩いてきた人たちです。このため、寺子屋では、自身とは経験も見方も違う人たちと「対話」をすることになり、ここにボランティアの楽しさ、面白さがあるのではないかと私は思います。ボストン子ども博物館の初代館長のマイケル・スポックは「聞いたことは忘れがち、見たことは記憶に残る。自ら行動したことは理解が深まる」と博物館における「体験」の意味を説いています。寺子屋で共に手習い体験をすることで来室者が面白いと感じ、興味、関心を多少でも持ってもらえれば、自らの学びにもなります。だからこそ、体験者の「面白かった」とのひと言に、こころ揺さぶられます。

○これまで、お客様に体験していただく「変体がな」というものを知りませんでした。ボランティア活動を通じて知って、今では、お客様に、「きそば（生蕎麦）、おしろこ（お汁粉）、おてもと（お手元）などで表記されている文字ですよ」と説明できるようになりました。また算木を使った、足し算や引き算を体験してもらうコーナーがあり、体験の範囲ではないのですが、算木を用いた掛け算や割り算、平方根の計算などを自己学習するきっかけとなりました。

○自ら学びたいと思う気持ちを満たしてくれるばかりでなく、その学んだことを人に伝えることで喜んでくれる、それを実感できるのが、何ととっても寺子屋「れきはく」でのボランティア活動の一番の魅力だと思います。来館者だけでなく、ボランティアに集まる方々も年齢層、それぞれのバックグラウンドが幅広く、寺子屋「れきはく」に足を運ぶたびに、新たな発見、気づきを与えてくれることが、ここでの活動に足を運ぶモチベーションになっています。

◆学生ボランティア経験者より

私は、来館者として体験した手習いが楽しかったこと、博物館学芸員課程を履修していたことから、大学生の時に活動を始めました。ボランティア同士で協働しながら、幼児から年配の方、外国人まで多様な来館者のお手伝いをして喜んでいただく経験は、就活でも社会人として働く上でも生きています。年齢に関わらず主体的に活動に関わることができるのがこのボランティアの良いところです。歴博に無料で入館できるのも大きな魅力です！

◆法被を着たボランティアさん

背中に白字で『歴博』とプリントされた紺の法被（半被）が支給されます。なかなかカッコいいです。でもジーと座っていると人形みたいに見えるようです。「あー動いた」なんて言われたりもします。